

東海地域に暮らす外国人の子どもと教育
Foreign Children and Education in the Tokai Region

小島祥美（愛知淑徳大学） KOJIMA Yoshimi (Aichi Shukutoku University)

キーワード 外国人学校、義務教育年齢を超過した青少年、就学前の子ども、学習権

愛知県、岐阜県、三重県の東海3県における外国人登録者数を国籍別にみると、いずれもブラジル国籍者が最も多い。東海地域に暮らすこうしたブラジル人は、製造業を中心とした派遣労働に多く従事しているが、彼（女）らの雇用状況は2008年秋の未曾有の経済危機以後、大きく変動した。地域経済を支えてきた労働者であったが、景気悪化に伴い真っ先に「派遣切りの対象」として白羽の矢が立ったのである。外国人労働者の派遣切りは、将来に希望や夢を抱き、懸命に公立学校や外国人学校で学ぶ子どもまでにもしわ寄せがいった。

本シンポジウムでは、2008年秋以降に本報告者が取り組んだ活動のうち、（1）岐阜県委託調査「定住外国人（ブラジル人）実態調査」、（2）文部科学省委託研究「平成21年度外国人教育に関する調査研究－ブラジル人学校等の準学校法人設立・各種学校認可の課題」、（3）夢や希望を応援する活動の実践、の3つの活動について報告し、すべての子どもの学習権保障にむけた問題提起から多文化共生施策の欠陥を論じていきたい。

<活動概要>

（1）岐阜県委託調査「定住外国人（ブラジル人）実態調査」

【調査期間】2009年7月1日～9月30日

【対象市町】県内ブラジル人集住7市町（大垣市、関市、美濃加茂市、各務原市、可児市、垂井町、坂祝町）

【調査内容】特定非営利活動法人ブラジル友の会や調査員が把握しているブラジル人居住地（派遣会社のアパートなど）を訪問し、直接面接調査を行った。県内に住むブラジル人家庭の約半数にあたる5,307軒を調査員が訪問し、2,095軒の3,106人（大人2,370人、子ども736人）から回答を得ることができた。より多様な意見を聞き取るため、ブラジル人の母語であるポルトガル語でブラジル人が聞き取りを行った（本事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用した県事業であったため、調査員等は離職中のブラジル人を雇用した）。調査実施にあたっては、調査員の事前研修を行うとともに、ブラジル人居住区に対し実施予告を広く行った。また、調査票を選択肢から選ぶのではなく自由回答とした。

（2）文部科学省委託研究「平成21年度外国人教育に関する調査研究－ブラジル人学校等の準学校法人設立・各種学校認可の課題」

【調査期間】2009年10月28日から2010年3月末

【研究内容】2009年10月時点において無認可のブラジル学校のうち、本研究およびその成果が全国的に展開されることを目指して、Instituto Educacional Centro Nippo-Brasileiro（群馬県大泉町）、Escola Alegria de Saber（愛知県豊橋市、豊田市、碧南市、三重県鈴鹿市、静岡県浜松市に所在しているが、同一の経営母体であることから1校とする）、Colégio Latino de Shiga（滋賀県近江八幡市）、Colégio Isaac Newton（岐阜県美濃加茂市）の計4校をパイロット校として抽出し、ブラジル学校が準学校法人設立および各種学校認可取得を進めるにあたっての課題を具体的に解決しながら、実際に認可取得するための支援（サポート）を行うという実践的研究を実施した。

本研究により、無認可のブラジル学校が準学校法人設立および各種学校認可取得を進めるにあたって直面する課題が明らかになった。そこで、具体的な解決法として、パイロット校が準学校法人設立および各種学校認可取得を進めていくなかで得た資料、事例、様式のうち他校においても参考となるであろうものを蓄積し、それらをわかりやすくマニュアルとしてまとめ、日本語とポルトガル語の2言語で作成した。作成したこのマニュアルは、自治体国際化協会が管理および運営するウェブサイトで公開し、誰もが利用できるシステムを構築した。また本研究成果は、準学校法人設立および各種学校認可取得へ向けた意欲や関心を持つ無認可のブラジル学校をはじめ、自治体関係者、ブラジル人学校支援者やボランティア関係者にも広く共有できることをめざし、公開報告会（公開セミナー）を開催した。

（3）夢や希望を応援する活動の実践

自分の興味を広げたり、将来のことを意識したりすることにより、自信や夢を持てるようになることが必要ではないかと思ひ、2008年から外国人が多く暮らす地域にて子ども達と映像づくりに取り組んでいる。①子どもたち自身が、「自信」や「夢」を持ち、前向きに暮らしていこうという意欲を持つこと、②地域住民に完成した映像を見ていただくことにより、外国にルーツを持つ子どもたちの背景や頑張っている姿を伝えること、がこの活動の狙いである。

<参考文献>

- 愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室.2009.『プレスクール実施マニュアル』.
朝日新聞.2010.『日本で暮らす外国人の子に自信を一異国の悩み・夢、写真に刻む』2010年8月19日夕刊.
- 岐阜県総合企画部国際課.2010.「岐阜県の多文化共生へのとりくみー一定住ブラジル人実態調査について」『(財)岐阜県国際交流センター国際交流情報誌世界はひとつ』112号.
- 小島祥美.2010.「経済不況で苦境にあるブラジル学校の実態ーブラジル人学校等の準学校法人設立・各種学校認可の課題研究から」『自治体国際化フォーラム248号(2010年6月号)』財団法人自治体国際化協会.
- 文部科学省委託研究『平成21年度外国人教育に関する調査研究報告書ブラジル人等の教育機会の現状と課題についてーブラジル人学校等の準学校法人設立・各種学校認可の課題』(研究代表者中村安秀).2010.